

高島和男

届けます。
あなたの思いを県政に。 県政広報誌

去る6月13日に一般質問を行いました。今回は御代がわりが行われたことから、過去の歴史を振り返りながらこれからどうあるべきかという視点で質しました。誌面の都合上、抜粋して作成していますが、ホームページの『お知らせ』をクリックすると映像で全てご覧いただけます。

① 新時代における地方自治体のあり方について



高島

地方自治体は従来に増して積極的に議論をリードし行動で示す姿勢が問われます。過去に経験のない異例の事態だからこそ将来の姿を県民により分かりやすく提示する必要があります。新時代における本県の進むべき指針は？

新時代は熊本地震で大きな被害を受けた熊本にとって創造的復興を地方創生、ひいてはさらなる発展につなげていく時代。災害に強い熊本作り、インバウンドの獲得、産業の集積、これらの取り組みをしっかりと進めさらなる発展を目指す。



県

全力で取り組みます！

一生暮らせる

『熊本』づくりに

② 復興基金について



高島

過去の事例でも基金の期限は10年、当然追加はなく、当局がいかにか有効活用するか頭を悩ませているのは承知しています。発災から3年が経ち復旧・復興の段階が移行行く中で改めて用途について被災市町村の意見を調整、収斂した上でより良い活用方法をまとめる必要があるのでは？

これまでも市町村との意見交換会を通じて7つの事業で開始した基金の事業は現在36事業となっている。現在市町村へのアンケート調査を行っており事業の改廃さらなる追加等の必要性を見極める。また市町村が速やかに事業を進められるよう運用も改善する。



県



③ 入管法改正について



高島

少子高齢化が急速に進む地域では農漁業や介護等の分野で外国人を待望する声も聞かれる一方で外国人材の受け入れ経験が乏しいことから混乱や軋轢を懸念する声もあります。今回の改正は受け入れ要件が先行し施策は具体性を欠き体制については未だ整備されておらず不安が募ります。入管法改正に関する本県の取り組みの現状は？

H29年、企業からの相談窓口となる外国人材受け入れ支援センターを全国に先駆けて設置。昨年8月熊本県外国人労働者の拡大に関する連絡会議を立ち上げ。今年度から外国人材活躍促進に取り組む経済団体等への補助や外国人の受け入れに関するパンフレット作成し啓発活動も開始。今回の改正を受けて外国人を支援するための総合相談窓口を整備する。



県

④ 新たな空港運営会社との連携とこれからのインバウンドについて



高島

これから提案が速やかに実現していくことが問われ、県としても新会社との意思疎通は勿論、提案が確実に履行されるかチェック機能を果たすことが求められます。今後、県と新会社がどのように連携を進めるのか？合わせて今後出資や役員を派遣するなど経営に参画する予定の有無は？

滑走路や駐車場含む空港全体の運営が来年4月から開始されることを踏まえ、今年度中には出資や役員派遣の可能性を含め連携のあり方を決定する。



県



今回の質問は、高島和男のホームページの『お知らせ』から動画でご覧いただけます

※熊本県議会ホームページのインターネット中継ページ

高島和男事務所

届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！



〒862-0962 熊本市南区田迎2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新！
<http://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

